

【高等学校用】

令和3年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	佐賀県立白石高等学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策のため、教育活動が大きく制限された。その中で、オンライン会議システムを活用した授業やキャンパス間の会議等これまでにない取り組みを行うことで、学習活動やキャンパス間の連携など新たな取り組みの可能性が広がった。 再編統合後の新しい学校づくりの第2ステージとして、グランドデザインの策定、カリキュラムや校務分掌の見直しを積極的に行っていききたい。 学校の教育活動の展開において、コミュニティスクール構想やGIGAスクール構想を積極的に取り入れ、時代の要請に見合う生徒の育成に努めていきたい。
2 学校教育目標	<ol style="list-style-type: none"> 夢を育み、夢の実現に邁進する学校 知・徳・体の調和のとれた、健全な人格の形成を目指す学校 地域に愛され、信頼される学校 グローバル化に対応できる力を要請する学校
3 本年度の重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 一体感の醸成を加速する校務分掌のチームワークづくり<校舎制による円滑な学校運営> 「地域とつながる高校魅力づくりプロジェクト」最終年度として取組促進と総括、コミュニティスクール設置への準備<魅力と活力ある学校づくり> 新学習指導要領の実施に向けて白石高校の特色化・魅力化を推進するカリキュラムの最終検討 「総合的な探求」の更なる充実を図り、探求学習の中で得た学びや経験を一人ひとりのキャリアに結びつける組織的な流れを構築

4 重点取組内容・成果指標	5 最終評価
---------------	--------

(1)共通評価項目				5 最終評価			
評価項目	重点取組		具体的取組	最終評価		学校関係者評価	
	取組内容	成果指標 (数値目標)		達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
●学力の向上	○生徒の進路希望に応じたきめ細やかな進路指導によりキャリア発達を促し、進路実現を達成させる	○キャリア教育アンケートにおいて、「進路について考えることができた」、「ある程度できた」と回答した生徒の割合97%以上	・各種進路行事や学期ごとのキャリアパスポート記入を通して、生徒のキャリア発達を促す。				
	○主体的に考え、行動する力を育成するため、また、学力向上のための授業改善に取り組む	○授業について、「満足している」と回答した生徒の割合90%以上	・ICT機器の効果的な活用方法等、魅力ある授業づくりについて、各教科で研修を行う。				
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○本校の道徳教育及び人権・同和教育の全体計画に基づき授業を行ったと回答した教員95%以上	・人権・同和教育講演会及びLHRを実施し、人権意識の向上を図り、差別を許さない態度を醸成する。				
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止(未然防止・早期発見・即時対応)について組織的対応ができていると回答した教員80%以上	・いじめアンケートを年3回実施し、職員研修も実施する。また、学年・生徒指導・教育相談等が連携を取り対応する。 ・生徒会いじめゼロ啓発活動を行う。				
	◎郷土愛を醸成するための教育活動	◎佐賀県や地域に誇りや愛着を感じる・どちらかというと感じると回答した生徒85%以上	・年間で合計4時間の講演及びワークシートを利用した調べ学習を行うことにより、佐賀についてより深く学び、郷土に対する関心と郷土愛を喚起する。				
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に食事は大切である」と考える生徒90%以上 ○朝食を摂って登校する生徒90%以上	・食と健康について定期的に保健だよりの発行を行う。 ・アンケートによる意識調査を行う。				
	●「安全に関する資質・能力の育成」	●生徒の交通事故を0(ゼロ)にする ○防災について、高い意識を持っていると回答した生徒90%以上	・風水害時の保護者の迎えの手順を文書で作成し周知する。 ・防災避難訓練を消防署立ち合いのもと実施する。				
	○心身ともに健康で、文武両道の充実した生活環境をつくる	○本校の「部活動の活動方針」に基づき活動ができたと回答した教員85%以上 ○部活動加入率85%以上	・放課後の時間の有効活用について、HR等で理解を図る。 ・各学年の部活内における立場を自覚させ、学校の活性化につなげる。				
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する	・出退勤管理システムを有効に活用し、長時間勤務の職員に対し、指導・助言を行う。				
	○職場の相談体制を整え、働きやすい職場環境を構築する	○働きやすい職場環境であると回答した教員90%以上	・校内のハラスメント相談体制を整え、相談があった場合は迅速に対応する。また、第三者相談機関を職員に周知。 ・職員研修を年間3回実施する。				

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目							
評価項目	重点取組		具体的取組	最終評価		学校関係者評価	
	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
○校舎制による円滑な学校運営	○キャンパス間の連携・協力体制をつくり、合同行事に積極的に取り組む	○合同行事の開催年間10回以上	・特別活動を中心に、合同行事を企画、実施する。 ・合同の分掌会議・運営委員会・職員会議を定期的に開催する。				
○魅力と活力ある学校づくり	○地域とつながる高校魅力づくりプロジェクト(最終年度)の成果を次年度以降につなげていく	○普通科・商業科ともに中学生の志願倍率1.0倍以上	・地元地域、小中学校、大学・専門学校、企業との接点を多く作り、それらの特色を生かした企画を実施する。 ・各プロジェクトの実施概要を「学校HP」や「白高だより」等や他メディアを使用し、情報発信を行う。				
○新カリキュラムの構築	○新学習指導要領に対応した新カリキュラムを構築し、「総合的な探求」活動を充実させる	○令和4年度入学生用の教育課程表を7月中旬までに完成させる	・カリキュラム委員会を複数回開催し、全職員で作成するという機運を醸成する。また、総合的な探究の時間の取り扱いについて、検討を図る。				

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
----------------	---